

釜崎スラム極寒のそ記



一のそ 問訪がんま

夫敏 田中 文と繪

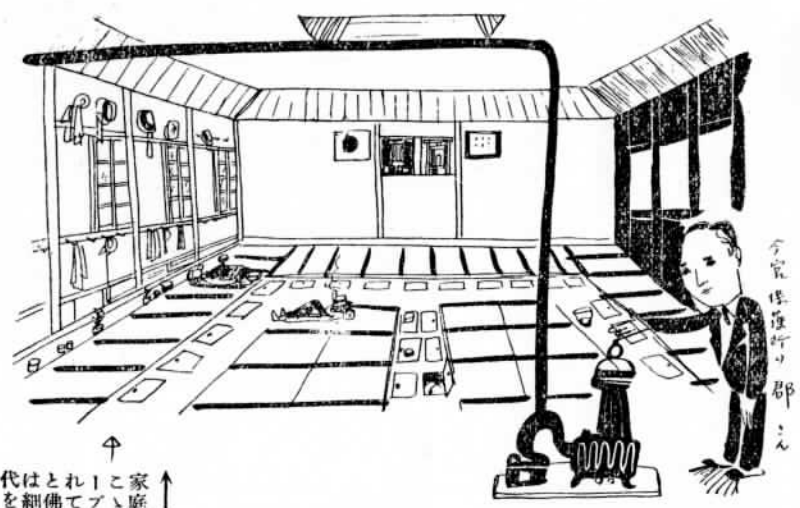


おかないで
宿泊所の外
託児所
もある。



コンモダート造り三階建、お
よそモダンな寺院風の中大
關と印度風の内部もすべてそ
設象的だ。水の走るの
備的だ。進歩的だ。水の走るの
パトは負だ。水の水

四恩學園



今蒙修産所ノ郡ノ人



聖心セツツルメント

聖心女子學院の招きで三年前
エ・カッタク教会愛徳會支
の童貞さんに給食など
共にくる心給食など
度な委に光つて居る。

↑市立守宮保護所
家庭だ。疊を敷きつめれば百
一アがつまり並んだ所は壯
れとあつた。部屋はかなな
は細かに案内してくれた。早
代を合唱の後朝食につくさう



清和寮

この土地の木賃宿、梅之家主人細原
吉織さんのスラムに贈った暖い贈物だ。氏
は永居る悲劇
地深くの内
を昨年泊る
木造り所
は清浄な所
を一人の情
感まじりの
涙分る

世の関ひに敗れ、都會の表面から
追はれながら、悲惨のどん底に集り
うごめく人々の國——大阪釜ヶ崎ス
ラムの所々に、彼を慰め導き、救は
んとする人々を探し求めて……
四恩學園宿泊室
合理化された寝室は丁度船のキャビ
ンの様だ。六疊位の部屋に二重に八
つの寝臺、また夫々の寝臺に一つづ
つ小面がついて居る。中には洗面道
具一式、ノート、薬、タバコ、灰皿
トケイ、タオル等身の廻り一切のも
の、それは少くも小さいがめい
の生活と、複雑であらう彼等の過去
をよく物語つてゐる様だ。
大きな窓から、陽がサン／＼と輝い
て居た。